

平和の祈り

◇ 8月6日の祈り ◇

◇ 8月9日の祈り ◇

◇ 8月15日の祈り ◇

付録：日々用いることができる

「平和の祈り」集



日本聖公会東京教区

〈はじめに〉

主の平和がありますように。

8月を迎えるにあたり、「平和の祈り集」を作成いたしました。8月6日、8月9日、8月15日には、それぞれの場所ではあっても、共に祈りをささげましょう。本冊子が助けになりますように。

また、8月全体を通して（もちろん、それ以外のいつでも）用いることができるように、これまでの様々な時代・場所でささげられてきた平和の祈りを、「平和の祈り」集としてまとめました。自分に合うものを毎日用いても、また毎日異なる祈りを用いても結構です。

祈りの習慣がない方は、8月の一ヶ月、毎朝、夕、就寝前など、それぞれの生活に合わせて祈りの時間を設けることをお勧めします。日々平和を願い、この季節を過ごされますように。

救主降世2022年8月

宣教主事 司祭ヨセフ太田信三

宣教主事補 ジョアンヌ田中まき

〈目 次〉

- ◇ 8月6日の祈り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 ページ
- ◇ 広島平和礼拝2022」のご案内・・・・・・・・・・ 5 ページ
- ◇ 8月9日の祈り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6 ページ
- ◇ 日本聖公会長崎聖三一教会・日本聖公会九州教区主催
「被爆77年長崎原爆記念礼拝」のご案内・ 8 ページ
- ◇ 8月15日の祈り・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9 ページ

付録：日々用いることができる

「平和の祈り」集・・・・・・・・・・・・・・・・ 11 ページ

*8月6日、9日の礼拝のご案内は最終ページにも
ございます。

◆ 8月6日(土)に用いてください

2020年8月6日広島原爆逝去者祈念より

「わたしたちの^{きょうかい}教会の^{はたら}働きの^{ため}のため」

ぜんのう ^{かみ}全能の神よ、あなたは^{せかい}この^{あい}世界を^こ愛して^{つか}み子を^{ひと}遣わし、^{かんぜん}すべての人があなたとの^{完全}な^{わか}和解と^{まじ}交わりの^いうちに^{のぞ}生きることが^{はたら}できるように^望みまた^働いておられます。どうかわたしたちを^{みちび}導いてその^{わざ}み業を^{さと}悟らせ、^{おのれ}己を^{ささ}献げてこれを^{あかし}証し、^{くに}ともに^{じょうじゅ}み国の^成就にあずかることができるようにしてください。

2022年「被爆77年原爆犠牲者追悼聖餐式」式文(神戸教区広島復活教会)より

「戦後77年を覚えて」

しんり ^{へいわ}真理と^{みなもと}平和の^{ぜんのう}源である^{かみ}全能の神よ、^{たいへいようせんそうしゅうけつ}アジア・太平洋戦争^{ねん}終結から^{むか}77年を迎えたわたしたちが、^か過去の^{れきし}歴史から^め目を^{ちじょう}そむけず、^{へいわ}地上の^{おびや}平和を^に脅かし、^{そんぞう}あなたの^似姿に^{創造}された^{ひとり}一人ひとりの^{いのち}命と^{そんげん}尊厳を^{うば}奪い去るあらゆる^{せんそう}戦争や^{ぼうりよく}暴力に対して^{たい}目を^め開き、^{ひら}戦争のもととなる^{じんげん}人間の^{ぞうお}憎悪、^{にく}憎しみ、^{ふしん}不信を取り去り、^{とも}友としての^{まじ}交わりのなかに^い生きることができるようにしてください。

「核兵器廃絶と平和を求めて」

しんり ^{へいわ}真理と^{みなもと}平和の^{ぜんのう}源である^{かみ}全能の神よ、わたしたちは^{げんしばくだん}原子爆弾が^い如何に^{おそ}恐ろしい^{さつりくへいき}殺戮兵器であるかを知っています。しかし^{いま}今も^{かくへいき}なお、核兵器を^{ほじ}保持することによって、^{へいわ}平和が^い維持できると、^{おお}多くの^{ひと}人たちが^{かた}固く^{しん}信じています。主よ、どうかこの^{ひと}人たちの^め目を^{ひら}開いて、^{ぶりよく}武力による^{へいわじつげん}平和実現の^{げんかい}限界を^{れきし}歴史から^{まな}学ばせ、^{かくへいきはいぜつ}核兵器廃絶へと^{みちび}導いてください。そして、すべての^{ひと}人の^{こころ}心に^{へいわ}平和を^{あい}愛する^{あい}まことの^も愛を^{たが}燃やし、^{しんらい}互いに^あ信頼し合うことによって^{へいわ}平和を^{じつげん}実現させてください。

がいこくじん ひばくしゃ おほ
「外国人被爆者を覚えて」

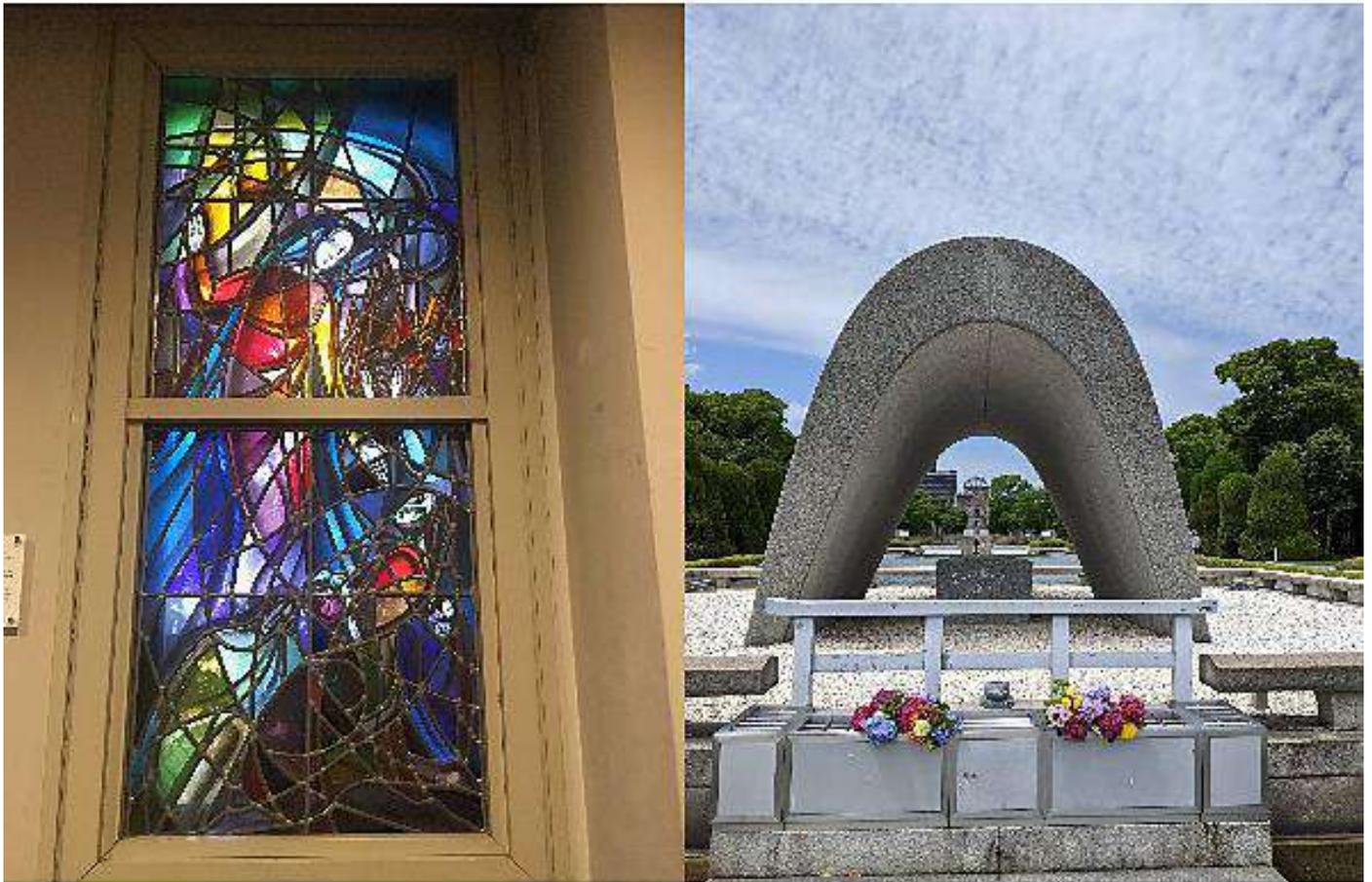
いつく ふか しゅ こ ひと しゅ かぞく へいわ い
慈しみ深い主よ、み子イエス・キリストはすべての人がみな主の家族として平和に生き
るために、十字架により憎しみの隔ての壁を除き、主による和解の道を開いてください
ました。どうか強制連行などによって故国を離れ、広島で被爆した外国の兄弟姉妹を
かえり 顧みてください。この人たちの苦しみをむなしくせず、主による平和を実現する器と
してわたしたちをもち用いてください。

いま げんばく こういしょう くる ひと おほ
「今なお、原爆の後遺症に苦しむ人びとを覚えて」

じ ひ かみ てん ちち ひばくしゃ いま くる なや ひと まも ささ
慈悲の神、天の父よ、被爆者として今なお、苦しみ、悩みをかかえている人びとを守り支
えてください。この人たちに恵みを与え、体と魂の苦しみを取り除き、み力を与えて、
ゆうき きぼう ま くわ しゅ すく よろこ みちび
勇気と希望を増し加え、主の救いの喜びに導いてください。

げんばく せいきよ ひと おほ
「原爆によって逝去された人びとを覚えて」

よ ひと よ さ ひと しゅ かみ わたし いま ひろしま とうか げんばく いのち
世にある人、世を去った人の主なる神よ、私たちは今、広島に投下された原爆によって命
を失ったすべての人びと、ことに聖公会信徒およびその交わりのなかで逝去した人びと
の魂を主の憐れみのみ手にゆだねて祈ります。どうか彼らが堪え忍んだ様々な苦しみの
さけ みみ かたむけ め なみだ ぬぐ さ ながさ へいあん あた
叫びに耳をかたむけ、その目から涙をことごとく拭い去り、慰めと平安をお与えくださ
い。どうかこの方々の魂が、主の憐れみによって安らかに憩うことができますように。



広島平和礼拝2022のご案内

2022年8月6日(土)

8:15～聖餐式

10:15～被爆証言

広島復活教会のYouTube
ページから、ライブ配信いた
します。



お問い合わせ

〒730-0014 広島市中区上櫛町10-11 TEL:082-227-1553 FAX:082-227-0818

司祭 バルナバ 永野拓也

礼拝について

今年は、8時15分の黙祷を行ってから開始します。ライブ配信で参加くださる方も、一緒に黙祷くださればと思います。

なお、復活教会での礼拝は、皆さんの体調等を考慮の上ご参加ください。新型コロナウイルス感染症の対策のため、急遽公開の礼拝を休止する場合がございますが、ご了承ください。なお、宿泊の手配は行なっておりません。

被爆証言講師：小倉桂子さん

1937年生まれ。8歳の時に、爆心地から2.4kmの場所で被爆。1981年に、平和のためのヒロシマ通訳者グループを設立。海外からの作家、メディア、平和運動家などの通訳として多くの作品に関わる。同時に、世界中の人々に被爆の実相を伝えるという信念のもと、これまで50以上の国・地域の人々に被爆体験を語っている。5月のEU大統領の来広の際も、被爆証言を行った。



◆ 8月9日(火)に用いてください

2017年「長崎原爆を覚えて祈る」式文(東京教区)より

とくとう
「特祷」

すべて世にある人また世を去った人の命を支えてくださる全能の神よ、戦争、ことに長崎
での原爆投下によって命を失った人びとの死を悼み、その魂を主のあわれみのみ手に
委ねます。また、今もなお、その被爆によって体と心に苦しみを負う人びとに主のいや
しのみ手が延べられ、励ましが与えられますように。そして、わたしたちがあなたの平和
の実現のために器として用いられますように。救い主イエス・キリストによってお願い
いたします。 アーメン

2021年長崎原爆記念礼拝式文より

せんぼつしゃ じゆんなんしゃ
「戦没者および殉難者のため」

すべて世にある人また世を去った人の父なる全能の神よ、戦争その他の災難によって命
を失った人びとの死を悼み、その魂を主の憐れみのみ手にゆだねます。また、わたし
たちがその犠牲をむなしくせず、悲しむ者を慰め助け、ともに主による平和を追い求め
させてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

2022年長崎原爆記念礼拝式文より

げんばく とうと いのち うしな ながさき ひと おぼ
「原爆により尊い命を失った長崎の人びとを覚えて」

世にある人、世を去った人の主なる神よ、わたしたちは今、広島、長崎に投下された原爆
によって世を去った全ての人びとを覚えて祈ります。主よ、どうか、この人びとの叫びを
聞き、慰めを与え、魂の平安をお与えください。ことに長崎聖三一教会の犠牲者たち
を覚えて祈ります。主よ、原爆投下で亡くなった人びと及び、原爆投下後に亡くなった人
びとの犠牲を空しくすることなく、みこころが天に行われるとおり、地にも行われます

ように、お導きください。平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

「今もなお、原爆の後遺症におびえ、苦しむ人びとを覚えて」

愛と命の源である主よ、被爆者として今もなお、重荷を負う人びとを覚えてください。慈しみをもって、この人びとに主のみ顔を向け、励ましをお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

「被爆した外国の人々を覚えて」

わたしたちが願い求めるよりも先に、わたしたちの思いをご存知であるいつくしみ深い主よ、どうか被爆した外国の兄弟姉妹に、あなたのみ顔を向け、彼らを支え、み恵みをお与えください。主イエス・キリストによってお願いいたします。

「核兵器廃絶と平和を求めて」

天の父なる神よ、わたしたちは原子爆弾が如何に恐ろしい大量殺戮兵器であり、また、残された者に、筆舌に尽し難い艱難を与えるものであるかを知らされました。地獄の体験をした被爆者は、人類と核兵器は共存できるものではないと証言しています。しかし、現在は、長崎・広島に落とされた原爆を遥かにこえる破壊力をもった核兵器が、世界の平和と秩序を維持する理由によって保持されています。主よ、どうか世界の人びとの心を治め、武力による秩序維持の限界を歴史から学ばせ、核兵器廃絶の決断へと導いてください。主よ、人びとを憐れみ、聖霊をもってお導きください。わたしたちが互いに信頼し、共存を求め苦しみを通して、平和を実現させてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。マタイ 5:9



被爆77年

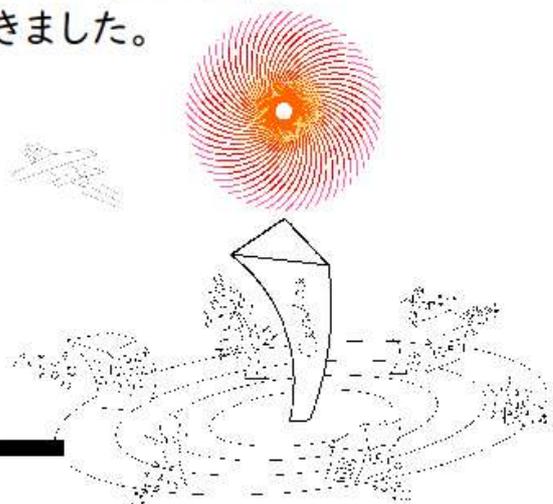
長崎原爆記念礼拝

〈聖餐式〉

死の同心円から平和の同心円へ

1945年 8月 9日、長崎にもたらされた原子爆弾。
そこから“死の同心円”が広がっていきました。

私たちはこの日を覚え、共に祈り、
いのちを支え合う“平和の同心円”
をこそ広げてまいりましょう。



すべての被爆者を覚えて
主の平和の実現のために

2022年8月9日(火) 10:30~
日本聖公会長崎聖三一教会

共同司式 司祭 柴本孝夫 (九州教区宣教局長)
共同司式 司祭 牛島幹夫 (長崎聖三一教会牧師)
説教 司祭 牛島幹夫

その他の教役者も司式・補式等に加わる可能性があります。

10:30~ 聖餐式

長崎に原子爆弾が投下された11時 2分
あの日を思いつつ黙禱を捧げます。

12:00~ 昼食

13:00~ 平和プログラム

※午後のプログラムは新型コロナウイルスの流行状況により中止の可能性あります。

◎コロナウイルスの感染予防対策を行いつつ開催致します。

【お問い合わせ】 司祭 牛島幹夫 長崎聖三一教会 電話/Fax 095(823)0455

※前日・当日の宿泊をお考えの方はご自身で手配をお願いいたします。

主催 日本聖公会長崎聖三一教会 ・ 日本聖公会九州教区

◆ 8月15日(月)に用いてください

2019年「夕の礼拝(広島・長崎原爆を憶えて)」式文(東京教区)より

「戦後77年を覚えて」

真理と平和の源である全能の神よ、アジア・太平洋戦争終結から77年を迎えたわたしたちが、過去の歴史から目をそむけず、地上の平和を脅かし、あなたの似姿に創造された一人ひとりの命と尊厳を奪い去るあらゆる戦争や暴力に対して目を開き、戦争のもととなる人間の憎悪、憎しみ、不信を取り去り、友としての交わりのなかに生きることができるようになってください。主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

平和の神よ、広島や長崎で原子爆弾のために命を失ったすべての人びとを覚えます。

また、その後も原子爆弾による放射能の後遺症に苦しむ人びと、そして核実験や原子力発電所事故などによる放射能被害に苦しむ人びとを覚えます。

そして今もなお、戦争のただ中で生きることが強いられている多くの人びと、ことに子どもたちを覚えます。

戦争・暴力・苦しみに満ちあふれるこの世界で、わたしたちはあえて平和を願い求めます。

貧困・貪欲・不正義による暴力の種が蒔かれているこの世界に、あえて平和の種を蒔くことを願い求めます。

暴力を止め、弱くされた人びとのために声を上げる力と勇気を、願い求めます。

正義と慈しみによって平和を作り出すという困難な道のりを歩み続ける信仰を、願い求めます。

戦争と暴力の足音が近づく今この時、わたしたちがあえて平和を願い求めて献げるこの祈りを、ご自身も暴力の犠牲となって死なれたみ子、主イエス・キリストのみ名によってどうかお聞きいれください。

2018年「平和を祈る」式文(東京教区)より

「戦争の犠牲者のため」

よ ひと よ き ひと しゅ かみ しゅ し ひと さいわ
世にある人、世を去った人の主なる神よ、あなたは、主にあつて死ぬ人は幸いである、
おし
と教えられました。どうか主を信じて世を去り、安らかな眠りに就いた僕らに豊かな祝
ふく あた たいへいようせんそう あらそ ぎせい よ
福を与えてください。わたしたちはアジア・太平洋戦争またすべての争いの犠牲となり世
を去った人びと、ことにアジア諸国の人びとの死を悼み、そのたましい しゅ あわ て
を去った人びと、ことにアジア諸国の人びとの死を悼み、その魂を主の憐れみのみ手に
ゆだねます。また、わたしたちが悲しむ者を慰め助け、ともに主による平和を追い求め
ることができるよう。救いぬし
すく ぬし ねが
救い主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

あわ しゅ なぐさ かみ こ こんきゆう もの ささ
憐れみの主、すべての慰めである神よ、み子は困窮する者を支えられました。アジア・
たいへいようせんそう いえ からだ はたら とも あい もの あんぜん じゆう うしな なや くる
太平洋戦争により、家または体の働き、友や愛する者、安全と自由を失い、悩み苦し
む人びとを憶えてください。いまだ暴力と争いにより裂かれたわたしたちの世界を顧
ひと おぼ ぼうりよく あらそ さ せかい かえり
み、平和のために仕える人びとの働きを成功に導いてください。人と神、人と人に和解
をもたらされたしゅ ねが
主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

2019年「夕の祈り(広島・長崎原爆を憶えて)」式文(東京教区)より

よ ひと よ き ひと ちち ぜんのう かみ せんそう いのち うしな ひと
すべて世にある人、また世を去った人の父なる全能の神よ、戦争によって命を失った人
びと、ことにひろしま ながさき げんぱく いのち うしな ひと し いた たましい しゅ
びと、ことに広島・長崎の原爆によって命を失った人びとの死を悼み、その魂を主の
あわ て ぎせい かな もの
憐れみのみ手にゆだねます。どうか、わたしたちがその犠牲をむなしくせず、悲しむ者を
なぐさ たす しゅ へいわ お もと あゆ みち しめ
慰め助け、ともに主による平和を追い求めることができるように、歩むべき道をお示し
ください。そして今もなお戦争、分裂、争いのうちにあるこの世界を顧みて、主の正し
しはい さば あき しゅ そむ おこな あらそ く あらた
い支配と審きを明らかにし、主に背いて行っているすべての争いを悔い改めさせ、と
もに主の平和と救いにあずかることができるようにしてください。救いぬし
すく ぬし ねが
救い主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

へいあん 「平安のため」

すべての聖なる望み、良い思い、正しい業のもとである神よ、この世の与え得ない平安を
わたしたちにお与えください。わたしたちがみ心にすべてをゆだね、み力によりあだを
恐れず、安らかに日々を過ごすことができますように、救い主イエス・キリストのいさ
おによってお願いいたします。 アーメン

みちび 「導きのため」

天の父よ、わたしたちは主のうちに生き、動き、また存在するものです。どうか聖霊に
よって導き、わたしたちが日々の営みのうちに主を覚え、常にみ栄えを現すことがで
きますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

◆「平和の祈り」集

「ウクライナのための祈り」

正義と平和の神よ、わたしたちは今日、ウクライナの人々のために祈ります。
またわたしたちは平和のために、そして武器が置かれますよう祈ります。
明日を恐れるすべての人々に、あなたの慰めの霊が寄り添ってくださいますように。
平和や戦争を支配する力を持つ人々が、知恵と見識と思いやりによって、
み旨に適う決断へと導かれますように。
そして何よりも、危険にさらされ、恐怖の中にいるあなたの大切な子ども
たちを、あなたが抱き守ってくださいますように。
平和の君、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

ジャスティン・ウェルビー大主教

スティーブン・コットレル大主教

祈祷書より

「主の祈り」

てん ちち
天におられるわたしたちの父よ、

な せい
み名が聖とされますように。

くに き
み国が来ますように。

てん おこな ち おこな
みこころが天に行われるとおりに地にも行われますように。

ひ かて きょう あた
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

つみ ひと
わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

ゆうわく
わたしたちを誘惑におちいらせず、

あく すく
悪からお救いください。

くに ちから えいこう えいえん
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。 アーメン

「世界平和のため」

しんり へいわ みなもと ぜんのう かみ ひと こころ へいわ あい あい も
真理と平和の源である全能の神よ、すべての人の心に平和を愛するまことの愛を燃や

くにぐに まじ たざき ひと へいわ つく だ ち え あた しゅ あい し ちしき
し、国々の交わりに携わる人びとに、平和を造り出す知恵を与え、主の愛を知る知識を

せかい み ちち せいれい よよ い しはい こ
この世界に満たしてください。父と聖霊とともに世々に生き支配しておられるみ子イエ

ねが
ス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

「戦争、分裂、争いの終結のため」

しはい ぜんのう かみ ただ さば しゅ て しゅ ちから さか
すべてのものを支配される全能の神よ、正しい審きは主のみ手にあり、主のみ力に逆ら

か もの しゅ く あらた もの ゆる あわ あた
って勝つ者はありません。また主はまことに悔い改める者に赦しと憐れみを与えられま

ふこう せんそう ぶんれつ あらそ せかい かえり しゅ ただ しはい
す。どうか不幸にして戦争、分裂、争いのうちにあるこの世界を顧みて、主の正しい支配

さば あき しゅ そむ おこな あらそ く あらた しゅ
と審きを明らかにし、主に背いて行っているすべての争いを悔い改めさせ、ともに主の

へいわ すく ちち せいれい いったい
平和と救いにあずかることができるようにしてください。父と聖霊とともに一体であっ

よよ い しはい しゅ ねが
て世々に生き支配しておられる主イエス・キリストによってお願いいたします。

アーメン

横浜教区 平和宣教月間 2019年より

「^{せい}聖^{へいわ}フランシスコの^{もと}平和を^{いの}求める祈り」

^{かみ}神よ、わたしをあなたの^{へいわ}平和の^{うつわ}器にしてください。

^{にく}憎しみのあるところに、^{あい}愛を

いさかいのあるところに、ゆるしを

^{ぶんれつ}分裂のあるところに、^{いっち}一致を

^{まよ}迷いのあるところに、^{しんこう}信仰を

^{あやま}誤りのあるところに、^{しんり}真理を

^{ぜつぼう}絶望のあるところに、^{きぼう}希望を

^{かな}悲しみのあるところに、^{よろこ}喜びを

^{くらやみ}暗闇のあるところに、^{ひかり}光をもたらすことができますように。

^{かみ}神よ、わたしに、

^{なぐさ}慰められるよりも、^{なぐさ}慰めることを、

^{りかい}理解されることよりも、^{りかい}理解することを、

^{あい}愛されるよりも、^{あい}愛することを

^{のぞ}望ませてください。

^{じぶん}自分を捨てて初めて^{はじ}自分を^み見だし、

ゆるしてこそゆるされ、

^し死ぬことによつてのみ、^{えいえん}永遠のいのちによみがえることを

^{ふか}深く^{さと}悟らせてください。

「主とともに一日々の祈り—」(大阪教区)より

「^{へいわ}平和を^{もと}求める^{いの}祈り」

わたしたち一人ひとりを^{ふか}深く^{あい}愛してくださる^{かみ}神さま、^{ちきゅうじょう}なぜ地球上から^{せんそう}戦争や^{あらそ}争いが^な無く

ならないのでしょうか。^{おそ}恐らく^{れきし}歴史が始まって以来一時も^{はじ}争いが^{いらいひととき}絶えた時は^{あらそ}なかつた^たこと^{とき}で

しょう。^{じんるい}人類は^{おろ}愚かにも^{かみ}神さまから^{あた}与えられた^{ちえ}知恵と^{ちから}力を^{ほか}他の人を^{ひと}殺したり^{ころ}傷つけ

たり、^{ある}或いは^{しはい}支配することのために^{もち}用いてまいりました。ただ^{じぶんじしん}ひたすら^{りえき}自分自身の利益の

みを追い求め、そのために他の人びとを支配し或いは支配されたりの繰り返しでした。
わたしたちは神さまの正義よりも自分自身の理屈に生きてまいりました。その結果あなたが望んでおられる平和は現在に至るまで実現していません。わたしたちはそのことを心から悲しみ深く懺悔いたします。どうかわたしたち一人ひとりがあなたの前に謙遜になり、この世の全ての人びとは神さまに愛されていることを理解し、決して他の人びとを傷つけることなく、困難の内にある人びとと共に平和実現の希望をもって心から互いに愛し合い仕え合って、生きていくことができますように、主イエス・キリストのみ名によってお祈りいたします。 アーメン

「友のための祈り」

神さま、あなたは友のためにいのちを捨てる、これにまさる大きな愛はない、と教えられました。どうかわたしの友がわたしにとってかけがえのないものとなり、わたしも友にとってかけがえのないものとなれますように、お導きください。
主イエスさまによってお願いいたします。 アーメン

「お互いのため」

神さま、お互いに尊び合う心を、豊かにおあたえください。あなたの愛によってわたしたちは創られ、生かされています。あなたのみ心でないことはありません。あなたが生きて働いておられるわたしたちの隣人一人ひとりと共に、いつもあなたを賛美する事ができますように。 アーメン

「地の果てまで 主よ、あなたの平和を」東京教区戦後 50 年ワーキンググループ報告より

「祈り」

真理とさばきの主なる聖霊よ

わたしたちのこの世界をにぎっている

数々の力を追いはらうことのできる方は

あなたをおいて他にありません

この危機き きの時代じ だいにあって

あなたの決断けつ だんをわたしたちにお与あたえください

何が悪あくであるのかを正ただしく見みつめ

それが悪あくだと言いえるように

そして平和へい わへとつなみちがる道みちを

わたしたちが知しることができるよう

あなたの決断けつ だんをお与あたえください

イエス・キリストをとお通ねがして願ねがいいたします アーメン

(「1991WCC 第7回大会特祷より」)

2020年「平和を祈る」(東京教区)より

主しゅなる神かみよ、

わたしたちはあなたに罪つみを犯おかし

あなたの前まえで悪あくを行おこないました。

ことに戦後せんご77年ねんのこの時とき、

アジアをきんりんしよこくはじめ近隣諸国ひとの人びとに

日本にほんの教会きょうかいがしてきたこと、してこなかったことを

覚おぼえ、祈いのり

わたしたちは悲かなしみ、悔くい改あらためます。

あなたの慈いつくしみによってわたしたちを憐あわれみ

わたしたちの悪あくを洗あらいさり、罪つみから清きよめてください。

わたしたちのうちに正ただしい心こころを新あらたにし、

人びとの癒ひとしと和いや解わのため、わたしたちを用もちいてください。

そしてあなたの救すくいの喜よろこびにあずからせてください。

主しゅイエス・キリストによって アーメン

「平和のための祈り」

全能の神よ、

あなたがお造りになったこの美しい世界は

多くの戦争によって汚されてきました。

あなたがお造りになった人間は、

数知れない兵器によって

いのちを奪われてきました。

神よ、わたしたち人類に、

核兵器や軍事基地に頼るのではなく、

非暴力による平和への道を歩む

勇気と知恵をお与えください。

十字架によって、すべての人の和解をもたらされた

主イエス・キリストをとおして

この祈りをささげます アーメン

(2010年カトリック東京大司教区平和旬間委員会)

1995年平和を祈る夕べの集い「平和を祈る夕べ」より

真理と平和の源である神よ、み子イエス・キリストはすべての人がみな主の家族として

平和に生きるために、十字架により憎しみの隔ての壁を除き、主による和解の道を開い

てくださいました。いま「戦後77年」を迎えた(迎える)わたしたちが、自らの国のあ

やまちを正しく見つめ、悔い改めて、歴史を通して働かれる神の呼びかけに応えていく

勇気と力を与えてください。そして、わたしたちの教会が、主の平和を実現していくよ

き器となることができますように、父と聖霊とともに一体であって世々に生き支配して

おられる主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

すべての聖なる望み・良い思い・正しい業のもとである神よ、この世の与え得ない平安を

わたしたちにお与え下さい。わたしたちがみ心に全てを委ね、み力によりあだを恐れず、

安らかに日々を過ごすことができますように、救い主イエス・キリストのいさおによっ

てお願いいたします。 アーメン

天の父よ、わたしたちは主のうちに生き、動き、また存在するものです。どうか聖霊によって導き、わたしたちが日々の営みのうちに主を覚え、つねにみ栄えを現わすことができますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。 アーメン

カトリック東京大司教区「平和のための祈り」2003.03.21 より

主よ、

わたしたちが世界の貧しさから目を背けてきた罪を赦してください。

世界の富が不公平に分配されていることに口を閉ざしてきたことを赦してください。

権力者の理不尽な政治に対しても傍観者であったことを赦してください。

世界にはびこる不正や暴力に声をあげてこなかったことを赦してください。

主よ、

怒りや憎しみの心から解放し、愛と赦しの道に導いてください。

理解と和解そして赦しを育むために何をなすべきか教えてください。

わたしたちを平和の使徒、平和のために働く人とならせてください。

地球上のすべての人を戦争とテロの恐怖から解放してください。

この地上から核兵器を含むすべての大量破壊兵器を取り除いてください。

今こそ人類をあなたの正義と平和が支配する世界に導いてください。

主なる神よ、御子イエス・キリストはご自分の体で隔ての壁をうち倒し、十字架によって敵対を滅ぼし、人類に平和をもたらしてくださいました。わたしたちもキリストにならない、敵への復讐心と憎しみに打ち勝ち、悪に対して善をもって応え、平和のために働くことができるよう、力と勇気をお与えください。

慈しみの御母が、すべての人の心を、知恵ある考えと平和への思いで満たしてくださいますように。 アーメン

教皇ヨハネ・パウロ二世『平和アピール』参照、1981年・於広島より

わたしは自然と人間、真理と美の創り主である神に祈ります。

神よ、わたしの声をお聞きください。それは、個人の間、または国家の間でなされた、すべての戦争と暴力の犠牲者の声だからです。

神よ、わたしの声をお聞きください。それは、人びとが武器と戦争に頼るとき、犠牲者となって苦しむすべての子どもたちの声だからです。

神よ、わたしの声をお聞きください。わたしは、主がすべての人間の心の中に、平和を創るための知恵と、正義の力と、仲間同士であることの喜びを注いでくださるよう願います。

神よ、わたしの声をお聞きください。わたしは、すべての国、また歴史のすべての時代において、戦争を望まず、常に喜んで平和の道を歩もうとしている無数の人々にかわって話しているからです。

神よ、わたしの声をお聞きください。わたしたちがいつでも、憎しみには愛を、不正には正義をもってあたり、貧困には自己の分かち合いを、戦争には平和をもって応えることができるよう、英知と力をお与えください。

神よ、わたしの声をお聞きください。そして、この世に「あなたの終わりなき平和」をお与えください。

◎Y o u T u b e をご覧ください。

- 8月6日(土)に行われる広島復活教会の「広島平和礼拝」はYouTubeにて動画配信されます。礼拝後に被爆証言があります。URLは以下の通りです。

<https://youtu.be/otCj5yDZDE0>



- 長崎聖三一教会の牛島幹夫司祭から次のようなご案内をいただきました。

「長崎での平和プログラムは、NHK戦争証言アーカイブにあります田川博康さんの被爆証言を視聴することになりました。田川博康さんは12歳で被爆、80歳を過ぎて被爆体験の語り部となった方です。残念ながら、今年の5月逝去されたのですが、どうぞその思いを共有し引き継ぐ時にしていきたいと思います。」

- NHK戦争証言アーカイブス

<https://www2.nhk.or.jp/archives/sensou/>



*戦争証言アーカイブスのサイトで「田川博康」と検索してください。(約30分)

- または、長崎平和推進協会がまとめたビデオがYouTubeにあります。

YouTubeにある 田川さんの証言

<https://www.youtube.com/watch?v=dWynydq84DI&t=223s>



*YouTubeで「8月9日の記憶 田川 博康」と検索してください。(約18分)

- この冊子は東京教区ホームページでもご覧いただくことができます。ぜひ、一緒に祈りをおさげください。

『平和の祈り』

発行日：2022年7月21日

発行者：日本聖公会 東京教区事務所

問い合わせ先：東京教区事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18

電話 03-3433-0987